

島根県

～シジミ漁獲量日本一と資源保護～

シジミの漁獲量について

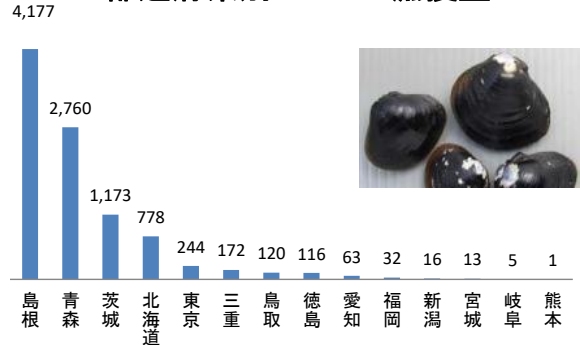
「シジミ」は、宍道湖を代表する水産物で、島根県の漁獲量は全国トップです。



島根県で採れるシジミのことを紹介するにや～

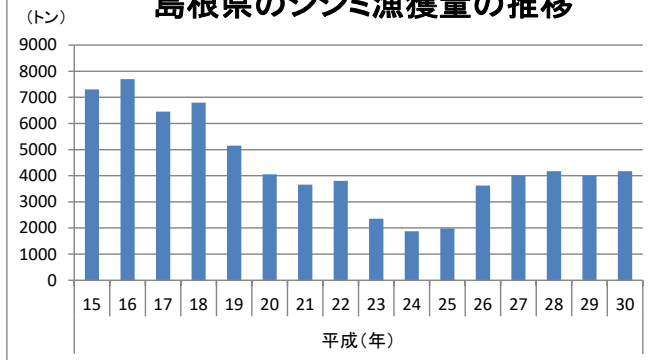
島根県観光キャラクター
「しまねっこ」
島観連許諾第5268号

都道府県別のシジミ漁獲量 (単位:トン)



(出典:平成30年漁業・養殖業生産統計より)

島根県のシジミ漁獲量の推移



(出典:農林水産省「漁業・養殖業生産統計」より)



シジミの味噌汁

宍道湖の漁獲方法

① 機械掻き(動力操業)

8～9mのディーゼル機関船に30～40kgある大型の「じょれん」を結びつけ、船の推進力で「じょれん」を引き、シジミを掻きとる漁法。

現在の宍道湖で最も広く行われている漁法です。



② 手掻き

6～7mの船外機船で漁場へ移動し、船の上から人力で10kgあまりの「じょれん」を使って湖底を掻く漁法。



③ 入り掻き

漁師さんがウエットスーツを着て、15kg程度の「じょれん」を持って湖につき、人力で後進しながらシジミを採ります。シジミが多い所では、足の裏にシジミがいることを感じる事ができるそうです。



漁業のルール

シジミを長く漁獲するために、昭和48年から漁獲規制が行われています。

漁師だからといって自由にシジミを取ることはできません。

シジミ漁業にはきちっとしたルールがあり、破れば厳しい罰則があります。

漁獲は、1人1日約90kgまで。

1週間のうちに3日間、漁を休みます。もし、このルールを破る人がいたら、近くの漁師さんまで、連帯責任で休まなければなりません。

1日にシジミをとっていい時間が決まっています。

漁が禁止されている場所や、手掻きしかできない場所が決められています。

小さなシジミを取らないように、じょれんや選別機の規格が定められています。

ワカサギやシラウオの産卵場所を守るため、シジミ漁が部分的に禁止される場合があります。



じょれん(鋤簾)

島根県

～家計調査結果～



島根県は四季おりおりの自然にめぐまれています。

最高の旬の味わい！



松江市（まつえし）

さばの購入数量



順位	都道府県庁所在市	単位：g
	全国	946
1位	松江市	1,604
2位	鹿児島市	1,565
3位	宮崎市	1,483
4位	和歌山市	1,374
5位	鳥取市	1,366

シジミの購入数量

順位	都道府県庁所在市	単位：g
	全国	279
1位	松江市	2,246
2位	水戸市	890
3位	青森市	752
4位	秋田市	729
5位	甲府市	613



あじの購入数量



順位	都道府県庁所在市	単位：g
	全国	1,090
1位	長崎市	3,206
2位	佐賀市	2,560
3位	松江市	2,486
4位	山口市	2,190
5位	宮崎市	2,170

出典：「家計調査結果（二人以上の世帯：平成28～30年平均1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量）」（総務省統計局）

松江・出雲地域の観光スポット

食、観光、なんでも

島根は、魅力いっぱい！



松江城（松江市）



穴道湖の夕日（松江市）



出雲大社（出雲市）

石見地域の観光スポット

「石見銀山遺跡とその文化的景観」

環境に配慮し、自然と共生した鉱山運営を行っていたことが特に評価され、平成19年（2007年）、世界遺産（文化遺産）に登録されました。



世界文化遺産に登録された石見銀山遺跡とその文化的景観（大田市）

隠岐地域の観光スポット

「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」

平成25年（2013年）9月9日、島根県沖の日本海に浮かぶ隠岐諸島が、太古からの大自然と人の営みが調和して独自の環境が残る貴重な場所として、世界ジオパークに認定されました。

ローソク島（隠岐の島町）

